

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL:03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

X @setabi_official Instagram @setagayaartmuseum

Special Museum Collection Exhibit

Commemorating the Museum's 40th Anniversary:

The History of the Setagaya Art Museum – Between Life and Art



牛島憲之《水辺(水門)》
1952年

アンリ・ルソー《フリュマン・ビッシュの肖像》
1893年頃

村井正誠《二人》
1984年

荒木経惟《東京物語》より
1988年

富本憲吉《ミニチュア磁器セット》
1929年 撮影:上野剛宏

塔本シスコ《絵を描く私》
1993年

アンドレ・ボーシャン《花》
1952年

2026年2月21日(土) - 4月12日(日)

3月28日(土)・29日(日)は無料観覧日

両日、エントランス前広場で「世田谷美術館さくら祭」も開催!

開館時間 10:00-18:00(入場は17:30まで)

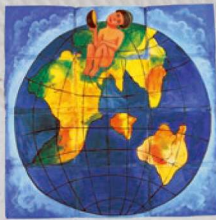
休館日 毎週月曜日 2月23日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館

会場 世田谷美術館 1、2階展示室 主催 世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)

観覧料 一般 220(180)円 大高生 170(130)円 65歳以上/中小生/障害者 110(90)円

*小・中・高・大学生の障害者、および障害者の方の介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。

* ()内は20名以上の団体料金。 * 世田谷区内在住・在校の小・中学生は土、日、祝・休日は無料。



フランチェスコ・クレメンテ《二つの大地》
1981年

1. 講演会

「料理からみる北大路魯山人」

講師：土井善晴(料理研究家)

日時：2月22日(日) 14:00～15:30(13:30開場)

参加方法：当館ウェブサイトより要事前申込(先着順)
2月3日(火)12:00受付開始

2. 座談会

「企業と美術シリーズを語りあう」

登壇者：近藤順一「福原信三と美術と資生堂展」、
秋山弘昭「暮らしと美術と高島屋」展、
今井田能壽「東宝スタジオ展」、
関谷哲也・松隈 章「竹中工務店400年の夢」展、
栗原浩史「東急 暮らしと街の文化」展

日時：3月1日(日) 14:00～16:00(13:30開場)

参加方法：当日12:30よりエントランスにて入場整理券を配布



北大路魯山人《雲錦大鉢》1940年
撮影：上野則宏



柚木沙弥郎《ならぶ人ならぶ鳥》
1983年

3. 講演会

「今ふりかえる世田谷美術館」

講師：酒井忠康(美術評論家、世田谷美術館前館長)

日時：3月14日(土) 14:00～15:30(13:30開場)

参加方法：当日12:30よりエントランスにて入場整理券を配布

4. 講演会

「ルソーと素朴派と、セタビのコレクション」

講師：遠藤 望(ハーモ美術館館長、元世田谷美術館学芸員)

日時：3月15日(日) 14:00～15:30(13:30開場)

参加方法：当日12:30よりエントランスにて入場整理券を配布

5. 演奏会

「小川典子ピアノ・リサイタル」

出演者：小川典子(ピアニスト)

日時：4月4日(土) 14:00～15:30(13:30開場)

参加方法：当館ウェブサイトより要事前申込(抽選)

共催：せたがや文化財団 音楽事業部

6. ワークショップ

100円ワークショップ

日時：会期中の毎土曜日 13:00～15:00

会場：地下創作室

参加費：1回 100円

参加方法：申込不要、随時受付

関連パフォーマンス事業

「偶戯を巡る2026／オシラサマを巡る旅」

長井望美(人形遣い・人形美術家)と藤原佳奈(戯曲作家・演出家)による人形芸能のルーツを辿るプロジェクト。

会期中に展示・パフォーマンス・オープンラボなど様々なイベントを開催します。詳細は当館ウェブサイトでお知らせします。



舟越桂《夏のシャワー》
1985年

*1～5、いずれも会場は1階講堂、定員140名、参加費無料。1～4は手話通訳付き。申込方法などの詳細は決定次第、当館ウェブサイトでお知らせします。

1986年3月30日、世田谷美術館は緑豊かな東京都立砧公園の一画に開館しました。以来、美術家をはじめ多くの文化人が居住する世田谷ならではの風土に育まれ、今年で40周年をむかえます。世田谷ゆかりの作家や、アンリ・ルソー(1844-1910)など独学で創作に励んだ人々の作品を含む、国内外の近現代美術を中心とする収蔵作品は約1万8千点にのぼります。これまで、開館記念展「芸術と素朴」を皮切りにさまざまな展覧会を開催するほか、建築家・内井昭蔵(1933-2002)によるユニークな建築空間を活かした演劇、舞踊、音楽のイベント、さらに学校との連携事業といった幅広い活動を行ってきました。その根底には、人々の暮らしや心に関わる芸術の在り方を探求しようとする姿勢があります。本展では、絵画、彫刻から写真、工芸まで多様な収蔵作品と、過去の展覧会の記録写真といった諸資料を通じて開館から現在までの時を振り返り、これからの活動へとつないでいきます。

次回企画展

田中信太郎 一意味から遠く離れて
2026年4月25日(土) - 6月28日(日)

次回収蔵品展

ミュージアム コレクションI 武蔵野・再考
2026年5月2日(土) - 7月26日(日)

X @setabi_official @setagayaartmuseum



*ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒にご協力ください。館内では十分な距離を保てない場合がありますので他のお客様へのご配慮をお願いします。
*展覧会の会期および内容が急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

- ・東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分もしくは、美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- ・小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バスB「砧」下車徒歩10分
- ・小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- ・来館者専用駐車場(60台、無料)
東名高速道路高架下、厚木方面側道 400m先。
美術館まで徒歩5分

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL:03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>